

今後の卸売市場の整備に関する作業部会（第3回）概要

1. 日時：

令和5年9月21日（木）13：00～14：15

2. 場所：

オンライン会議

3. 出席者：

<中央卸売市場開設者>

佐々木 直人	札幌市中央卸売市場	管理課長
山田 浩幸	仙台市中央卸売市場	管理課長
南波 伸也	東京都中央卸売市場	市場政策課長
花田 斎明	横浜市中央卸売市場	市場再編整備担当課長
長島 正卓	静岡市中央卸売市場	市場長
土村 誠二	金沢市中央卸売市場	中央卸売市場事務局次長
新實 吉宏	名古屋市中央卸売市場	主幹（市場整備推進担当）
中村 周平	京都市中央卸売市場	業務課長
山田 庸子	大阪府中央卸売市場	指導・業務課長
樋口 智彦	大阪市中央卸売市場	企画担当課長
徳村 守	広島市中央卸売市場	業務担当課長
永井 和哉	岡山市中央卸売市場	主査【代理出席】
門田 泰敏	松山市中央卸売市場	市場長
生野 剛	福岡市中央卸売市場	青果市場長

<地方卸売市場開設者>

飯田 宜秀	水戸市公設地方卸売市場	次長
佐藤 克麿	旭一旭川地方卸売市場	経営企画室長
柴田 彰	高崎市総合地方卸売市場	管理部長

<卸売団体>

庄内 弘志	（一社）全国中央市場青果卸売協会 東京青果株式会社 取締役商品センター部長
河添 洋平	（一社）全国青果卸売市場協会 熊本大同青果株式会社 常務取締役

<仲卸団体>

岡本 光生	全国青果卸売協同組合連合会関東地区協議会 理事
-------	----------------------------

<オブザーバー>

出田 安利 (一社) 全国中央市場青果卸売協会 専務理事
中村 岩生 (一社) 全国中央市場青果卸売協会
東京青果株式会社 経営戦略室課長
丸山 隆 (一社) 全国青果卸売市場協会 事務局長

<行政>

戎井 靖貴 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室長
松本 秀明 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室 課長補佐

4. 議事概要：

新事業・食品産業部食品流通課卸売市場室から「物流の革新に向けた政策パッケージ」、「令和6年度農林水産予算概算要求」、「今後の卸売市場整備の方向性骨子（見直し案）」について説明後、各市場開設者や卸、仲卸団体と見直し案や物流問題に対する取組についての意見交換

【各構成員からの主な意見】

○市場内の分荷機能の強化に着目した施設整備をすべき。具体的には、温度帯確保は必須とした上で、バリアフリーで円滑な導線と十分なピッキングスペースを確保し、体への負担の少ないピッキング・運搬が可能なものとすべき。

○余剰地確保のために多層化してもスロープ面積などで使える面積は1.5倍にしかならず、共用部分が減ってしまう。想定取扱数量に対して場内が混雑しないような余裕のある共用部と導線の面積を確保すべき。

○冷蔵庫は必要だが、整備費用も嵩むため、運用に合わせた限定的な整備をすることも大事。

○モーダルシフトについては、接続を考慮した拠点配置というよりも、20フィートでも荷降ろしし易い荷下ろしスペースの確保や構造設計などといった表現にすべき。

○市場内のパレットの自動搬送や自動フォークリフトなどについても実証に取り組んでいくべき。

○物流機能の強化という意味では、フリーズドライなど加工技術の強化による食品ロス削減も大事。

- ワンストップで混載便の荷下ろしができる**共同荷受け体制への対応を考えた施設配置や共同荷下ろし場の整備**などを考えるべき。
- 各市場の開設者においてローカル物流の物流会社を把握・登録制にする等して、市場間転送も含め、**ローカル物流をドッキングさせて共配率や積載効率を高くして共配機能を強化**する工夫を検討すべき。

(以上)